

# 愛と赦しは比例する

シリーズ～福音の力～

2020/02/16

## ルカによる福音書7章36～50節

さて、あるファリサイ派の人が、一緒に食事をしてほしいと願ったので、イエスはその家に入って食事の席に着かれた。この町に一人の罪深い女がいた。イエスがファリサイ派の人の家に入って食事の席に着いておられるのを知り、香油の入った石膏の壺を持って来て、後ろからイエスの足もとに近寄り、泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った。イエスを招待したファリサイ派の人はこれを見て、「この人がもし預言者なら、自分に触れている女がだれで、どんな人か分かるはずだ。罪深い女なのに」と思った。

そこで、イエスがその人に向かって、「シモン、あなたに言いたいことがある」と言われると、シモンは、「先生、おっしゃってください」と言った。イエスはお話しになった。「ある金貸しから、二人の人が金を借りていた。一人は五百デナリオン、もう一人は五十デナリオンである。二人には返す金がなかったので、金貸しは両方の借金を帳消しにしてやった。二人のうち、どちらが多くその金貸しを愛するだろうか。」シモンは、「帳消しにしてもらった額の多い方だと思います」と答えた。イエスは、「そのとおりだ」と言われた。そして、女の方を振り向いて、シモンに言われた。「この人を見ないか。わたしがあなたの家に入ったとき、あなたは足を洗う水もくれなかったが、この人は涙でわたしの足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれた。



あなたはわたしに接吻の挨拶もしなかったが、この人はわたしが入って来てから、わたしの足に接吻してやまなかった。あなたは頭にオリーブ油を塗ってくれなかったが、この人は足に香油を塗ってくれた。だから、言っておく。この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさに分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない。」

そして、イエスは女に、「あなたの罪は赦された」と言われた。同席の人たちは、「罪まで赦すこの人は、いったい何者だろう」と考え始めた。イエスは女に、「あなたの信仰があなたを救った。安心して行きなさい」と言われた。

# 他の福音書との比較

- 時期(状況)

- 他の福音書:十字架の直前の出来事/埋葬の準備

- 場所

- マタイ・マルコ:ベタニアの重い皮膚病の人シモンの家
- ヨハネ:「イエスが死者の中からよみがえらせたラザロの家」

- 香油の説明

- マルコとヨハネ:非常に高価なナルドの香油

- 非難のポイント

- 他の福音書:無駄遣い
- ルカ:「罪深い女」

# 他の福音書との比較

- 時期(状況)

- 他の福音書:十字架の直前の出来事/埋葬の準備

- 場所

- マタイ・マルコ:ベタニアの重い皮膚病の人シモンの家
- ヨハネ:「イエスが死者の中からよみがえらせたラザロの家」

- 香油の説明

- マルコとヨハネ:非常に高価なナルドの香油

- 非難のポイント

- 他の福音書:無駄遣い
- ルカ:「罪深い女」



別々の出来事か?  
ルカの編集か?



# ファリサイ派の家での出来事

- **ファリサイ派の家に招かれたイエス様**
  - イエス様をやりこめようと思っていたのか？
  - 客であるイエス様を十分もてなさなかった
- **突然現れた「罪深い女」**
  - おそらく娼婦(売春婦)であっただろう
  - ファリサイ派の家に入るのは大変勇気のいること
  - 人混みに紛れてイエス様に近づいた
- **彼女の行為**
  - 「泣きながらその足を涙でぬらし始め、自分の髪の毛でぬぐい、イエスの足に接吻して香油を塗った」

# なぜ彼女はそんなことをしたのか

- イエス様のことを伝え聞いていた
  - 死者をさえよみがえらせる慈悲深い大預言者
  - 徴税人さえ弟子にされる
  - 彼女の同業者も一向に加わっていたのでは？
- 計画的な行動だったのか？
  - 家の人に香油を渡すつもりだったが拒絶が恐かった
  - こうなったらイエス様に直接注ごうと近づいたが、**涙が止めどなく溢れてきた**
  - その時イエス様の汚れた足が目にとまった
  - 思わずその足にとりついたが、涙が足にこぼれ落ちた
  - 拭う物を持っていなかったので髪の毛で拭った
  - そして足に接吻し、持参した香油を塗った



## 語られたたとえ話

- 借金を帳消しにしてもらった話し
  - ファリサイ派の思いを察して
  - 「どちらが多くその金貸しを愛するだろうか？」
  - 「帳消しにしてもらった額の多い方」
- 女性の行為に表れた愛
  - この家の人足は足を洗う水も出さず、接吻もせず、オリーブ油も塗ってくれなかった
  - 「この人が多くの罪を赦されたことは、わたしに示した愛の大きさに分かる」
- 赦しと愛の関係
  - 「赦されることの少ない者は、愛することも少ない」

# 罪深さの自覚

- 彼女は特別に罪深い人だったのか？
  - 律法・社会通念上は他の人より罪深いとみなされる
  - 神の目にはすべての人は同様に罪深い
- [罪深さ]を自覚しているか
  - 「医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。」ルカ5:31
  - 彼女は自らの罪深さ【**赦しの必要**】を認識していた
- [赦されなさ(神との距離)]に絶望しているか
  - 決して赦されることはないと絶望していた彼女がイエス様こそ自分の罪を赦して下さる方だと直感した



# 十字架によって示された愛

- 彼女の罪は何事もなく赦されたのではない
  - イエス様の十字架の死によって赦された
  - 彼女の身代わりとして罰を受けられた
  - 彼女が香油を塗ったイエス様の足は十字架に釘付けられた
- 十字架によって示された神の赦しの大きさは、人類に対する神の愛を表している
  - 多く赦された者は多く愛する
  - 多く愛しているがゆえに多く赦す
  - “愛と赦しは比例する”